

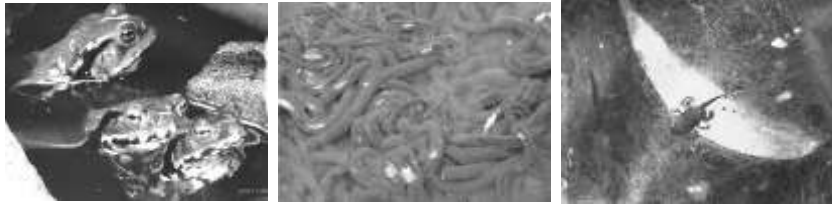


# 緊急がま調査 たくさんのご報告ありがとうございました!

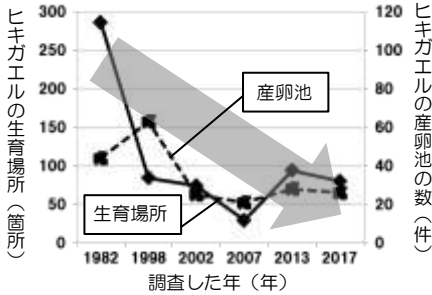
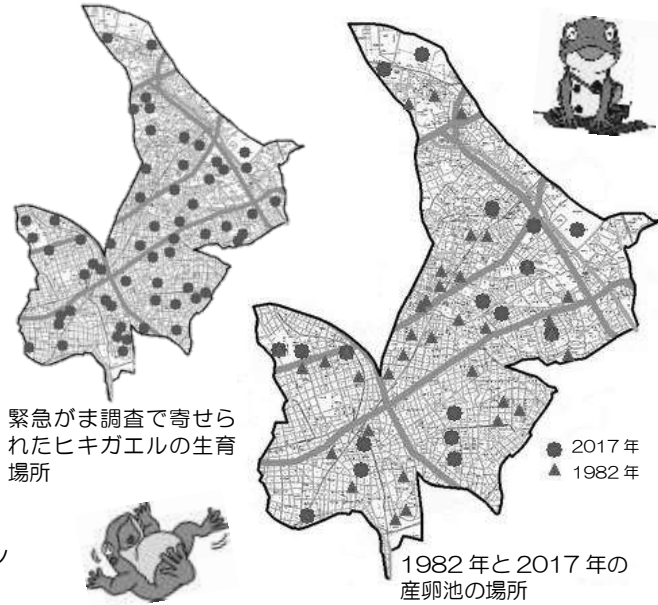
124 件もの観察報告をいただき、産卵池については 26 件の報告が寄せられました。(写真: がま調査より)



土の面で暮らすがま  
ふだんヒキガエルは土の面で暮らしています。



池中で暮らすがま  
ヒキガエルは家の庭にある池などで卵を産み、卵からかえったオタマジャクシは大人の姿に変わるまで池の中で過ごします。



今回の調査の結果から、駒場地区、自由が丘地区、目黒川周辺などで産卵池が減少していることが分かりました。ヒキガエルの数の減少は土の面や産卵池の減少が原因だと考えられており、上記の地区は特に住宅地での減少などが要因となっているのかもしれませんが。今回報告があった 26 件の産卵池の中には個人宅の庭の池が多くみられました。ヒキガエルは小さな金魚池のような環境でも産卵できます。土の面をできるだけ残すとともに小さな取り組みからヒキガエルを呼び戻すことが重要です。



プラ舟で泳ぐがま  
オタマジャクシ

## 歩もう 野の鳥の歌が聞えるまち 計画紹介その7

身近な自然を守り、いきものたちと共に暮らせるまちを未来に伝えていくため平成26年4月から推進している『ささえあう生命の輪 野鳥のすめるまちづくり計画(目黒区生物多様性地域戦略)』のポイントを紹介いたします。

### ●「いきものの庭」の取り組み

#### 1) いきものの庭の設定

個人の庭やマンションの緑地などの民有地や公共施設等の敷地をいきものの庭として設定し、いきものの道により、いきものの生息・生育環境を広げていきます。さらに樹木、草地、花壇、畑、池、屋上緑化などによる多様な環境によるみどりや土の面が目黒区全域に広がり、まち全体にいきものとのふれあいの場が実現することを目指します。

#### 2) 取り組み内容

個々の敷地ごとの緑化や樹木の保全・創出、屋上・壁面緑化等による民有地の緑化を推進するほか、公共施設や公園等の整備・改修により多様なみどりの量を増やし、質を向上します。

- ・保存樹木等の指定や樹木の保全協議制度による樹木等の保護
- ・建築時の緑化計画制度における緑化の推進
- ・緑化助成制度等による接道部や建築物緑化の推進
- ・角田市からの苗木による植樹運動
- ・樹名板やいきものプレートの設置
- ・緑化の普及啓発や環境学習の推進等 …など



水辺のある庭の例

## めぐろいきもの気象台

いきもの	観察日	観測地・観察のようす
カネタタキ	8月8日	16時30分頃。カネタタキの鳴き声を確認しました。(碑文谷2丁目自然通信員)
ハギ	9月4日	花が咲きだしたのを見ました。(碑文谷2丁目自然通信員)
オオスカシバ	9月16日	碑文谷の環七と目黒通りの交差点にいた。緑色に黄色と黒の縞模様でした。(自然通信員)
ナナホシテントウ	10月15日	自宅にて。ナナホシテントウが帽子についてきました。(東が丘2丁目自然通信員)
タヌキ	11月17日	山手通りのすぐそばに2匹もいるとはびっくりしました。(中目黒3丁目自然通信員)

★いきもの調査は、無理をして探しに出かけなくても、日ごろの生活の中で出会ったものをお知らせいただいております。

# みどりの活動紹介～楽しい公園施設にお出かけください

駒場野公園自然観察舎と中目黒公園花とみどりの学習館からコラムが届きました！

今回のテーマは、『土のいきものの世界』です。公園にはどのような土のいきもの世界が広がっているのでしょうか。

## 知られていない身近な世界

『この地球上には「地底人の住む地下都市がある」といった都市伝説を聞いたことはありませんか？

ふだん何気なく通り過ぎる足もと、とくに落ち葉のつもった柔らかい土には、多種多様ないきものたちが独自の生態系を築いています。昆虫から始まり、クモ、ムカデ、ダニ、ダンゴムシ、ミミズ…。キノコや粘菌、微生物も土のいきものと言ってよいでしょう。まだまだ人に見つからない未知のいきものもたくさん存在する土の中は、まさに地下都市なのではないでしょうか。 (駒場野公園自然観察舎 問電話 03-3485-1754)



## いきものうんちは、栄養たっぷりの肥料に

土の中は、目に見えないけれど、多くのいきものががすんでいます。落ち葉や枯れた植物は、いきものの食べ物となり、いきものうんちや死骸は、植物の栄養になります。中目黒公園は、公園にすむ鳥、昆虫、植物などのいきものの生命の循環を大切にした、「循環型園芸」というお手入れを行っています。花壇の土を掘ってみると、ミミズや、ダンゴムシ、コガネムシの幼虫がいました。土の上や中で生活し、落ち葉や枯れた植物をたくさん食べて、良い土を作ってくれる大切ないきものです。植物は、料理やクラフトの材料として暮らしに役立ち、枯れた枝葉からは堆肥をつくり、豊かな土を育みます。

(中目黒公園花とみどりの学習館 問電話 03-5721-0871)



## 現在調査中のいきものたち



ウグイスの初音

ヒキガエルの産卵池

ユリカモメ

冬のカモ



つくし

…など

お知らせいただく項目

- いつ
- どこで
- なにを見た
- ようす・メッセージ

### めぐろのいきもの 80選



### みどりの散歩道 コースガイド



### 目黒区いきもの住民台帳 「目黒区の野鳥」「目黒区の蝶と蛾」



『目黒区いきもの住民台帳』は自然通信員や、区などの行った専門調査の結果を、目黒区に生息・生育するいきものの種名リストとして集計したものです。目黒区総合庁舎 1 階区政情報コーナーにて 1 冊 300 円で販売しています。また、区立図書館や目黒区 HP でも内容をご覧いただけます。

いきもの観察や散歩のお供にいかがですか。

『めぐろのいきもの 80 選』(1 冊 400 円)と『みどりの散歩道コースガイド』(1 セット 300 円: 4 月に新版になっています)は、目黒区総合庁舎、自然観察舎、花とみどりの学習館、目黒区書店商業組合加盟の書店 9 店舗などで販売しています。

- いつも観察情報をありがとうございます。いただいた情報は、貴重な記録としてパソコンに集約しております。紙面の都合上全部をご紹介できないことをお許しください。
- 調べるいきものたちのパンフレットをご希望の方は、係までお申し込みください。
- いただいた写真等は、通信員だよりのほか区発行の印刷物に使用することがありますのでご了承ください。
- 通信員をおやめになりたいときや、転居のとき、お名前の誤りなどはお電話等でご一報ください。
- 観察情報や写真は郵便・FAX・Eメール ([sizen@city.meguro.tokyo.jp](mailto:sizen@city.meguro.tokyo.jp)) でみどりと公園課までお送りください。お写真をいただくと、種類を見分けるのに役立ちます。
- 通信員だよりはホームページからダウンロードできます。発行時にはメールでお知らせすることもできます。通信員だよりの郵送が不要の方は、上記のメールでご連絡ください。